



中庭のろうばい

平成24年2月1日
尾張旭市立東中学校



平成23年度
第11号

二月を迎えました。

節分・立春と暦の上では春を迎えます。一日一日と日没時間がゆっくりになってきているのを実感しているこの頃です。春が待ち遠しいですね。

中庭には、毎年のことですが、「ろうばい」の黄色い花が今年もきれいに咲いています。また、校庭内の「さざんか」には、メジロやツグミなどの鳥たちもやってきていて、毎日、にぎやかにさえずっています。少しずつ、春に向かっていくんだなと感じています。

3年生は、入試のシーズン

3年生は入試のシーズンとなります。インフルエンザをはじめ、ノロウイルス等々、体調の管理には十分に気をつけて取り組んでください。

入試に向けては、計画的にすすめないと、一度に無理をしたら体調をこわしますので、適度な気分転換や運動なども取り入れて、また、食事もしっかりととっていきましょう。

いずれにしても、それぞれの難関を見事にくぐり抜けて、希望の春を迎えることができるよう、3年生の健闘を心より祈っています。

世界一か、オンリーワンか

先日、「はやぶさ」で有名な、川口淳一郎（宇宙研究所 教授）さんの話を聞く機会がありました。2月と3月には、それぞれ映画も上映されるそうですが、その川口さんたちのポリシーとして、世界一ではなくて、オンリーワンを目指しているのだそうです。

オリンピックでもそうですが、世界一を目指すことじたい大変な努力が必要で、難しいことですが、川口さんたちの研究チームは、技術大国・日本の実力をもとに、単に世界一ということだけでなく、オンリーワン（たった一つ）の技術・アイデアを追究していきたいとのことでした。

昔のことですが、ヨーロッパで、ガリレオやコペルニクスが、それまで、多くの人が「天動説」といって、「太陽が地球の周りを回っている。地球は宇宙の中心だ。」という説を信じていたのに対して、望遠鏡を使った観測データを基に、「地動説」という新しい考え方を発表しましたが、この考え方が、その後の社会に与えた影響は、大きなものがありました。他にも、ニュートンが発見した「万有引力の法則」とか、キュリー夫人の「ラジウムからの放射能」などなど、偶発的な発見も含めて、オンリーワンを目指すには、綿密な計算と観測と優れたアイデアなど、きちんとした裏付けを基に、しっかり考えていくことが大切なことです。

そのためには、日ごろからの学習の積み上げが欠かせません。先日、1年生の理科の「密度」に関する授業で、実験結果の予測をしたところ、多くの方は「何となくそう思う。」としていたことについて、ある人は、「こうだから、こうなるはずだ。」と自分の考えをまとめたそうです。「こうだから」という確かな根拠を基に自分なりの考えをもつこと、こうした学習姿勢はとても大切なことです。

今年度も終わりに近づいていますが、まとめをしっかりとしながら、次へのステップアップを考える中で、ぜひ、参考にしてほしいなと思い紹介しました。